



長岡版

—発行編集—

長岡民主商工会

長岡市中沢167-1

☎ 33-5948

2019年 10月28日

第 1978号

日本は近年、台風や大雨、地震などの大災害が多発しています。日頃から防災を意識することが今後ますます大切になります。災害には早めの避難を！

# 協婦協 婦人部学校 「戦争体験者が語る戦争とは」講演 世界一の日本国憲法を「守って」ください

県婦協婦人部学校が10月20日(日)、多宝温泉・だいらの湯にて開催されました。全体ではおよそ50人、長岡民商からは役員2人、事務局1人の合わせて3人が参加しました。今年のテーマは「戦争体験者が語る戦争とは」。藤田博さんを招いてお話しを聞きました。

「お呼びくださいませありがとうございます。ありがとうございます」とあいさつされた藤田さんは、1922年生まれの97歳。日清・日露戦争を経て世界の5大強国といわれていた日本(他に米・英・仏・独)が再び戦争への道を進んでいた時代は、小学生でした。小学校では、新年になると校長が巻物を開いて教育勅語を読み上げていたそうです。小学3年生の時に満州事変が、6年生時には「満州国」が「つくられました」。新潟中学に入学すると週2時間の軍事教練があり、陸軍の現役将校が配属されていたとのこと。戦時中は「通信隊」に配属していた(させられていた)そうです。

天皇(昭和天皇)は統帥権をもつ「大元帥」であり、今の天皇とは地位も権力も全く異なることを繰り返し強調していました。

最後に「国民主権をうたう日本国憲法は世界一の憲法。どうか(改憲の反動から)憲法を守ってください」と力を込めて訴えました。

「ご高齢ながら大きな声で、時にユーモアも交えながらお話しされた藤田さん。元気の秘訣は「好きなことをすること」。歴史的事象と「自身の体験とを関係付けたお話は貴重であり、大きな学びとなりました。参加者一同、敬意とお礼の気持ちを込め、大きな拍手をお送りしました。」



## 台風19号 民商会員にも大きな被害

日本各地に甚大な被害をもたらした、今なおその爪痕を残す台風19号。全国商工団体連合会(全商連)には各県連より被害状況の情報が寄せられ、長岡民商にも連日報告が届いています。

住宅・工場などへの浸水、自動車や機械設備の水没、農作物への被害など、東北地方太平洋側や関東地方を中心に、多くの民商会員が被災しました。台風15号で長期間停電した地域では再び停電が発生し、営業はおろか暮らしにも大きな影響が出ました。この災害で商売に大打撃を受け、廃業を考える会員もいます。

宮城県・石巻民商の稲井支部支部長のSさんは、行政区長として地域住民に避難を呼びかけている最中、押し寄せた濁流に流され行方不明となり、残念なことに数日後に遺体で発見されました。地域住民を守るため、最後まで奮闘されました。

長岡市でも13日午後、避難準備等を促すエリアメールが鳴り響きました。長岡民商会員の皆様の中で、今回の台風によって住宅・事業所等が床上・床下浸水するなど実質の被害に遭われた方がいらっしゃいましたら、民商事務所までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

## 共済会より

### 大腸がん検診に申し込みましょう

これまでにお知らせした通り、11月10日(日)・11日(月)に大腸がん検診を行います。検査は簡単、大腸がんは早期発見・早期治療が大切です。ぜひお申し込みください。受診料は550円、共済会員は無料です。お申し込みは直前まで受け付けます。声をかけ合って受検しましょう。